



建交労

2019年11月26日 №11
全日本建設交通一般労働組合 中央本部

2019年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

2020年中央春闘討論集会に82人参加 春闘方針第一次案討議、ハラスメント学習会実施

11月23日（土・祝）～24日（日）の日程で、2020年中央春闘討論集会を静岡県伊豆の国市内で開催し、24県本部から82人が参加しました。角田季代子中央執行委員長は開会あいさつで「最賃闘争を押し上げる業種別春闘」を提起し、全国一律最賃制度の確立と1,500円以上の実現を求める運動広がりと共に建交労内でも学童・トラックなどの政策や要求賃金が一致していることを紹介し、2020年春闘で大きく前進させようと呼びかけました。さらには政治と社会を変えるとりくみについても「アウェーからホームグランドでの闘い」を切り開いてきた野党共闘・市民運動の内容「改憲阻止、増税反対、原発ゼロ、辺野古新基地建設反対」について触れ、安倍政権を打倒する一致点を生み出し、次の衆院選挙では野党連合政権を実現できるところまで来ていると紹介し、今夏の参議院選挙以後も岩手・埼玉の各県知事選挙で野党統一候補が勝利していることも確信にしようと話し、選挙闘争の重要性を訴えました。また廣瀬肇書記長が「2020年春闘方針第1次案及び春闘統一要求基準」を提案しました。

その後は「職場からあらゆるハラスメントの根絶を～セクハラ・パワハラを中心に～」と題して、東京法律・岸松江弁護士の講演とパネルディスカッションをおこない、「京都府本部・早田さん、東日本鉄道本部・三浦さん、大分県本部・川路さん」から各自がとりくんできたハラスメント問題を発言しました。その後5つの分散会・に分かれて、春闘アンケートに向けて職場の状況、春闘向けた構えなどを交流しました。

翌日（24日）は、各分散会の報告を受け、方針案に対する全体討論をおこない15名が発言しました。森谷副委員長が閉会のあいさつをおこない、最後に角田委員長の団結がんばろうで集会を終えました。